

取組 1 ゆたかな農業の振興		取組の評価	3.2 概ね順調	＜取組1の基本方針＞ 1 担い手の育成 2 利用集積の推進 3 農産物の高付加価値化 4 地産地消の推進 5 農地の有効活用 6 農資源のさらなる有効活用	
----------------	--	-------	----------	---	--

【取組の目的】 消費者のニーズに応える付加価値の高い農産物を供給し、安定的かつ効率的な農業経営を確立します。

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 ・ 本 市 の 現 状 （ 主 な 取 組 ）									
《社会の動向》		◎ 国の成長戦略（攻めの農林水産業）では、①担い手への農地の集約、②輸出や海外戦略の拡大、③6次産業化、農業のイノベーション化、新たに農協等の一体的改革が掲げられており、ＴＰＰ交渉を踏まえ、強い農業者づくりが求められている。 こうした中、本年度は水田営農政策における大きな転機を迎え、４年後の「転作」の廃止と自由化に向けて、地域の生産体制の強化が求められている。							
《本市の現状》 （主な取組）		◎ 本市の3大基幹作物である、温室メロン、茶、米の生産額は年々減少傾向にあることから、収益性の高い農業への転換を図るべく、ブランド力の強化及び販路拡大に向け、袋井のブランド米「ふくのいち」の品種登録後の販売取組において、ブランド確立のための商標や販売戦略の検討を行った、「ふくろい宣伝隊」による県内外へのPR活動を継続的に実施している。また、6次産業化の推進を図るため、応援フェアや補助金支援による農産物の高付加価値化を推進している。◎ 平成25年9月の中部学校給食センター開設により、地場産の農作物を使用する環境が整い、学校給食地産地消コーディネート業務を実施し、地産地消を推進した。 ◎ 農地の有効活用を図る取り組みとして、耕作放棄地を市民の力で開拓・復元し、次代に繋げていく袋井フロンティア農園プロジェクトを実施するとともに、担い手の育成として、企業の農業参入の促進を図っている。また、新規就農者の育成として「はじめよう農業応援事業」を行っている。							
『 取 組 指 標 』 の 分 析 と 評 価 結 果					『 取 組 』 の 有 効 性・必 要 性・緊 急 性 の 評 価 結 果				
番号	指 標 名	項 目		H24	H25	評 価 項 目	H25	備 考 欄	
1	農業産出額【億円】	目 標 値		114.6		有 効 性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	3	◎ ブランド力の強化及び販路拡大の取り組みとして、ブランド米の生産・販売に向けた取り組みやクラウンメロン販売促進の取組に加え、ふくろい宣伝隊などの活動による市内農産物の県内外への販路開拓を進めており、一定の成果がでている。 ◎ フロンティア農園プロジェクトや耕作放棄地対策事業など、農地を有効に活用していく取り組みが、次代を担う子ども達へ良好な農地を継承する活動であり、かつ市民とのパートナーシップのモデル的な取り組みとなっている。	
		実 績 値		102.5					
		達成率	伸び率	89.4	3.3				
		評 価		2					
2	認定農業者数（経営体含む） 【経営体】	目 標 値		251		必 要 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	◎ ＴＰＰへの交渉参加により、農業分野においても国際競争が避けられない状況となることから、強い農業の育成が欠かせない。6次産業化や集約型農業、ＩＣＴの推進による生産性向上と企業による農業参入を積極的に推進する必要がある。 ◎ 地産地消の取り組みを進めることで、食育推進や地域の自然や文化への理解・関心を高める効果が期待でき、市内農業者の経営の安定にも繋がることから、地域農産物を地域で食すことの取り組みの重要性は高まっている。	
		実 績 値		215					
		達成率	伸び率	85.6	▲ 7.7				
		評 価		1					
3	地場産の農産物（米以外）を使用した学校給食日数【日】	目 標 値		84		緊 急 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	◎ ＴＰＰの交渉を踏まえ、農業の自由貿易化までの時間は限られている。強い農業への育成が急務であり、生産性向上と法人化等を早急に進める必要がある。 ◎ 農業者の高齢化による担い手不足や耕作放棄地の増加が年々深刻化しており、人・農地プランに基づき意欲と能力のある担い手への農地の利用集積を進める必要がある。	
		実 績 値		77					
		達成率	伸び率	91.6	11.5				
		評 価		2					
4	農地流動化面積【ha】	目 標 値		903		評 価 結 果 の 平 均 値 （Ａ）	2.5		
		実 績 値		926					
		達成率	伸び率	102.5	6.8				
		評 価		4					
		目 標 値				評 価 結 果 の 平 均 値 （Ｃ）		3.7	
		実 績 値							
		達成率		伸び率					
		評 価							
＜評価基準＞ 4：達成率 ≥ 100％・前年比伸び率 ≥ 0％ 3：達成率 ≥ 100％・前年比伸び率 < 0％ 2：達成率 < 100％・前年比伸び率 ≥ 0％ 1：達成率 < 100％・前年比伸び率 < 0％					＜指標に影響を与えた主な取組、要因＞ ◎ 認定農業者数：農業者の高齢化や後継者不足によって、認定農業者が減少した。 ◎ 地場産の農作物を使用した学校給食日数：中部学校給食センター開設や既設の学校給食センターでの地場産農作物の活用地産地消コーディネート業務により、地産地消が推進され、増加した。				
『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向									
取 組 の 評 価						＜ 評価基準 ＞ 4 ～ 3.6：順調 2.9 ～ 2：一部に改善を要する 3.5 ～ 3：概ね順調 1.9 ～ 1：全体的に改善を要する			
3.2	概ね順調	各評価結果の平均値	取組指標の評価結果（A）	有効性等の評価結果（C）	主要事業の評価結果（B）				
			2.5	3.7	3.3				
番号	取 組 の 基 本 方 針		H24	H25	今 後 の 展 開 方 向				
1	担い手の育成				認定農業者の法人化や企業の農業参入を進め、強い担い手農業者の育成に取り組むとともに、新規就農希望者が参入しやすい環境づくりとして、農業経営学も含めた指導・相談を受けれる体制を充実させる。				
2	利用集積の推進				農地の流動化を促進し、意欲と能力のある農家への農地の利用集積を推進するため、袋井市農業委員会やJA遠州中央等の関係機関と一体で、認定農業者及び大規模農業を営むビジネス経営体への利用集積を促進する。				
3	農産物の高付加価値化				袋井商工会議所の農業産業部会とも連携した6次産業化の取り組みを進め、自由貿易化を見据えた高付加価値農産物の生産を支援する。また、他地域との差別化を図るため、新品種の導入による高品質化及びブランド化、海外輸出の促進、ＩＣＴの活用などを強化する。併せて、バリューチェーンによる商品開発の強化を図る。				
4	地産地消の推進				学校給食における地場産品の利用率を高めるため、地産地消コーディネーター業務による安定的な供給体制を確立し、市内農産物の生産拡大に繋げる。また、地域内消費の拡大を図るため、市内の農産物直売所や飲食店の活性化、地場農産物を材料とする加工品づくり開発及び普及への支援を行う。また、水田フル活用ビジョンによる地域特産作物の栽培を促進するとともに、地場野菜の耕作面積の増加を推進する。				
5	農地の有効活用				農作業条件の向上や農家の経営規模拡大のサポートに繋がるよう、用排水改良等の土地改良事業や既存農地の適切な維持・管理を実施する。また、農地の持つ優れた公益機能（生物多様性の保全・水源かん養・景観形成等）を守るため、袋井フロンティア農園プロジェクトなどの活動を通して、地域が一体となった取り組みを推進する。				
6	農資源のさらなる有効活用				行政経営方針に位置づけられた「農を活かしたまちづくりの推進」に基づき、農との関わりによる健康増進や福祉、教育、コミュニティの充実など、市民生活の質の向上を高める取り組みを継続的に展開する。				
＜ 展開方向 ＞			拡充（順調）	拡充（改善必要）	継続推進	縮小			

『 主 要 事 業 』 に 係 る 事 業 評 価 表 の 評 価 結 果					
番号	主 要 事 業 名	事 業 評 価 表 の 評 価 結 果			
		有 効 性	効 率 性	廃 止 の 影 響	
1	環境保全型農業直接支援対策事業	3	3	3	
2	「ふくろいブランド」米開発販売促進事業	4	3	3	
3	茶品評会出品対策事業費補助事業	4	4	4	
4	袋井市農業振興会補助事業	3	3	3	
5	クラウンメロン振興協議会補助金	3	3	3	
6	農業経営基盤強化資金利子助成金	3	3	3	
7	多面的機能支払交付金事業	3	3	3	
8	袋井茶振興協議会補助事業	4	4	4	
9	農業振興推進事業費補助金	3	3	3	
10	ふくろい特産品宣伝隊支援事業	3	3	4	
11	地場産品消費推進事業（手づくりみそ講座）	3	3	3	
12	6次産業化促進支援事業	3	3	4	
13	はじめよう農業応援事業	3	3	3	
14	袋井市鳥獣被害防止総合対策事業	4	4	4	
15	経営所得安定対策推進事業	4	3	4	
16	畜産振興対策事業（袋井市受精卵移植協議会補助金）	4	4	4	
17	農業委員会事業	4	4	4	
18	耕作放棄地対策事業	3	3	3	
19	市民農園運営事業（市営）	4	4	4	
20	袋井フロンティア農園プロジェクト	3	3	2	
21	県営農山漁村活性化プロジェクト支援事業	3	3	3	
22	出産・結婚祝品贈呈事務	3	2	4	
23	学校給食センター管理運営事業	4	3	4	
評価結果の平均値（B）		3.3	3.4	3.2	3.4

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

番号	主 要 事 業 名	事 業 評 価 表 の 評 価 結 果		
		有 効 性	効 率 性	廃止の影響
		4. 極めて有効 3. 有効 2. 一部有効でない 1. 有効でない	4. 極めて効率的 3. 効率的 2. 一部効率的でない 1. 効率的でない	4. 極めて影響あり 3. 影響あり 2. どちらでもない 1. なし又は代替手法あり
1	環境保全型農業直接支援対策事業	3	3	3
2	「ふくろいブランド」米開発販売促進事業	4	3	3
3	茶品評会出品対策事業費補助事業	4	4	4
4	袋井市農業振興会補助事業	3	3	3
5	クラウンメロン振興協議会補助金	3	3	3
6	農業経営基盤強化資金利子助成金	3	3	3
7	多面的機能支払交付金事業	3	3	3
8	袋井茶振興協議会補助事業	4	4	4
9	農業振興推進事業費補助金	3	3	3
10	ふくろい特産品宣伝隊支援事業	3	3	4
11	地場産品消費推進事業（手づくりみそ講座）	3	3	3
12	6次産業化促進支援事業	3	3	4
13	はじめよう農業応援事業	3	3	3
14	袋井市鳥獣被害防止総合対策事業	4	4	4
15	経営所得安定対策推進事業	4	3	4
16	畜産振興対策事業（袋井市受精卵移植協議会補助金）	4	4	4
17	農業委員会事業	4	4	4
18	耕作放棄地対策事業	3	3	3
19	市民農園運営事業（市営）	4	4	4
20	袋井フロンティア農園プロジェクト	3	3	2
21	県営農山漁村活性化プロジェクト支援事業	3	3	3
22	出産・結婚祝品贈呈事務	3	2	4
23	学校給食センター管理運営事業	4	3	4
評価結果の平均値（B）		3.3	3.4	3.2
				3.4